

平成 28 年度 湖西市文化財保護審議会

— 会議録 —

日時：平成 28 年 10 月 5 日（木）13：30～15：30

場所：新居地域センター 2 階 南中会議室

○出席者

委員	◎渡辺 和敏		○
	○跡見 厚夫		—
	吉村 理利		○
	平野 克典		○
	牧野 茂		
事務局	山下 宗茂	湖西市教育長	○
	切池 融	湖西市教育委員会 文化課 課長	○
	後藤 建一	湖西市教育委員会 文化課 参事	○
	松山 智次郎	湖西市教育委員会 文化課 文化財係長	○
	鈴木 紀子	湖西市教育委員会 文化課 主任	○

◎：会長 ○：副会長 傍聴人 1 人

1. 開 会

2. あいさつ

- ・山下教育長

3. 委嘱状伝達

4. 正・副会長選出

- ・渡辺委員を会長、跡見委員を副会長に互選

5. 報告事項

①平成 28 年度文化財関係事業の進捗状況

（トキワマンサク・文化財保護保存費・文化財調査事業・関所・紀伊国屋事業説明）

（関所復元整備事業について）

委員：関所の裏御門復元は、柵もつくるのか。

事務局：財政上の理由で 28 年度は柵はなく門のみ。

委員：柵がなく倒れないか。工期は？

事務局：設計監理をしているので倒れることはないはず。工期は来年 3 月まで。

現在、別の場所で部品を製作し、現地で組み立てることになる。

委員：大御門ができて、入場者数などの効果はあったか？

事務局：開門した3～4月は来館者が増えたが今ではその効果はみられない。

(トキワマンサク)

委員：トキワマンサクのこぶ病は、神座の民家に植えてあるものにも見られるか？

事務局：調査していないが、指定群生地と周辺に病気が見られる。

湖西市だけでなく、他の地域でも発生しているようである。

委員：トキワマンサクの指定理由は？

事務局：国内に群生する3箇所うちの北限。

委員：種子を鳥が運んで増えるような植物ではないので、湖西市になぜあるのか興味深い。

事務局：指定群生地のもものは自生であるが、民家の庭先にあるものは、文化財指定される以前に株分けして増やしたものである。

(文化財保護保存費)

委員：大倉戸のチャンチャコチャンは、神田神社で僧侶が経をあげる。

もともとはお寺でやっていたのか？神仏習合が見られる。

委員：僧侶が般若心経を読む。2礼2拍する。

委員：仏教儀式の中には神道の儀礼が見られることがある。

(関所)

委員：企画展「狂歌入東海道」に欠けた絵があるが、どの場面か？

事務局：京都の三条大橋が所蔵していない。

委員：インターネットで見ると「狂歌入り」は2～3万円で販売されている。

場面によって値段は違うかもしれないが、購入したらどうか。

委員：絵の状態が悪いものでも、とりあえず揃えたらどうか。

事務局：大した額ではないが、予算的なこともあるので検討する。

②市内指定文化財の現況報告

委員：風炉の井の指定種類は？

事務局：史跡。

委員：史跡ならいいかもしれないが、鎌倉時代、「茶」は伝来していないのではないか。

また角避比古神社の御膳水とあるが、この場所に神社があったと言い切れない。

伝説について疑問がある。指定について再検討をしたら？

本当に鎌倉時代からあるのか？

事務局：考古学的には江戸の石積みのようなものである。「東海道名所図会」には記載があるので江戸時代にはあった。崩落の状況は現地で確認をお願いします。

委員：頼朝関係の象徴的なものとして指定すればよいのか。「東鏡」の記述から頼朝が来たのは確かである。

委員：諏訪神社のケヤキの助成の目的については、指定物件の治療保存が主であり、後継樹の費用についてを主な対象とすると文化財保護の趣旨から外れると思う。算額については、劣化が進んでいるのか？劣化していないように思う。

委員：以前は屋外に出していたが、現在は屋内にある。劣化が進んでいるように思う。

委員：保存方法はないか？

事務局：出土木製品のような樹脂加工はむかない。塗料を塗る等か？

保護するならばレプリカを作成し、実物は関所史料館収蔵庫のような湿度管理がされているところに保管という方法があるが、諏訪神社の場所にある意味が失われてしまうし、収蔵庫で人目につかなくなってしまう。

現在は、屋内でそれほど光が当たらない場所である。後で現地確認を行う。

委員：湖西市にある算額は諏訪神社だけか？

事務局：八幡諏訪神社にある田内伝蔵奉納額（算額）（慶応2年）があるが未指定である。

委員：諏訪神社の算額は、関流というものに意味がある。算術の大きい流派。

③指定文化財の追加検討

委員：諏訪神社の燈籠と本殿を一括指定したら？

事務局：土肥孫兵衛の燈籠と願書は指定済み。

委員：長谷の八幡神社の文治4年とある棟札の年号を確認したい。

二宮神社の神輿は、宝永年間のもので、宝永地震に関係があり意味がある。

天井裏に文字情報があり、応賀寺の寄付なども書かれている。

候補になるのではないか。

委員：湖西地区からの物件で指定候補となりうるものも多いのではないか。

委員：女河八幡宮など。風俗記に記載がある。

④その他

委員：湖西中学校の郷土資料室を見学したい。

また磐田の公文書館も参考になるので視察をしたらどうか。

【現場確認】

* 風炉の井

委員：石が崩落し、ゆがみがでている。ただ指定した時分からゆがみはあった。

委員：水があったところに井戸は作ったのではなく、掘って井戸にしたようである。

家の基礎に割れがでていないので、家が隣接している影響はない。

委員：崩落の進行を防ぐため、形状が分かるように途中まで砂で埋めたらどうか。

その際には、後世に手を加えたことが分かるように、違う材質の土を使用する。

→（結論）：了承。

* 教恩寺

委員：門の形が変わっている。調査したらどうか。

* 諏訪神社ケヤキ

委員：枝が落ちそうで危険である。

委員：通学路になっているので、事故が起きないように早めに対処を。

委員：向かって左側の幹の音が空洞の音がしている。

→（結論）：治療をする方向で了承。

* 諏訪神社算額

委員：材質はケヤキ。

委員：文字が読める。劣化していない。

→（結論）：現状のままとする。

5. 閉 会

（以上）